

# 英語科学習指導案

福山市立福山中学校 授業者：松川 恭子

- 1 日時 平成22年11月4日(木)
- 2 学年・組 3年2組(20名) クラス(習熟度別 基礎コース)
- 3 単元名 現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法

## 【1】 つまづきの把握

平成21年度 基礎・基本定着状況調査 **実技**

《生徒自身についてたずねる問題》

No.2 あなた自身のことについてたずねますから、  
できるだけ詳しく英語で教えてください。

Mr./ Ms.○○, did you study English yesterday?

### 【出題の趣旨】

Yes/No 疑問文(Did)に対して、適切に回答することができる。

### 【学習指導要領の内容・領域】

「話すこと」

(イ) 自分の考えや気持ちなどが聞き手に正しく伝わるように話すこと。

### 通過率

本校	94.8%	県	65.2%
----	-------	---	-------

解答類型		本校の割合
1	2文以上のつながりのある英文で答えている。詳しく述べている。	56.8%
2	2文で答えているが、理解するのに支障のない程度の誤りがある。	39.8%
3	1文で正しく答えている。(Yes, I did. / No, I didn't. だけで答えている。)	2.5%
4	単語や語句などで答えている。(Yes. / No.) 1文で答えているが、理解するのに支障のない程度の誤りがある。	0.8%
5 ×	聞かれたことに対する応答とはなっていない。 答えているが、誤りがたくさんあり、理解できない。	0%
6 ×	応答がない。	0%

### この問題を解くために必要な力

- ・聞かれたことの意図を理解し、正しく応答することができる。(正確さ)
- ・聞かれたことの意図を理解し、語句や表現を選択し、適切に回答することができる。(適切さ)

### 誤答分析

解答類型2について

Did you study English?の問いに対し、Yes, I did.などの応答はできているが、さらに自分の生活に即して詳しく答えようとする、I study English very hard for an hour.のように、2文目以降の英文に時制のミスが見られる。

また、自分の言いたいことがあっても、既習の暗記した例文(I studied English very hard. / I studied English for two hours. など)を述べるに留まる生徒も多かった。No, I didn't. の場合においても、I studied math.といった共通の解答が目立った。既習内容をいれば、他の解答も可能であると考えられる。

# 【1】 つまづきの把握

平成22年度 3年生 1学期期末テスト

次の手紙は、foster program を通して日本からの支援を受けている女の子 Meena さんからのものです。よく読んで問題に答えなさい。

August 2

Dear sisters and brothers  
 ( ) ( ) your help, our village has  
 ( ) well.

It is near my house. So I have already started going to school again. 【do/lot/things/have/I/a/to/of/】

My parents also go to the same school. There is a class for adults. They are learning to read and write. We are very glad to have a chance to study together at home. It is fun.

Thank you very much.

Love,  
Meena

## 【出題の趣旨】

基本的な文のきまりに基づいて正しく文が書けるかどうかみる。

文のつながりを考えてまとまった複数の文章が書けるかをみる。

## 【学習指導要領の内容・領域】

「書くこと」(オ)自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

(4) あなたは Meena さんに返事を書くことになりました。次の点に注意しながら、返事を書きなさい。

手紙の書き出しは「お手紙ありがとう。」で始めなさい。

書き出しの文を含め、4文以上書きなさい。Meena さんの手紙の内容に関係のある内容を含むこと。

(5) ユニセフ(国連児童基金という国際連合の機関)のホームページには、世界の子どもたちを紹介したサイトがありました。次の子どもたちの現状を3文以上の英語で説明しなさい。

### アフガニスタン (Afghanistan)

この少年は8歳です。彼は、弟世話をしたり、家のお手伝いがり、遊ぶ時間はありません。



### イエメン (Yemen)

この少女は7歳。家が貧しくて学に通えません。1日中、家の仕事しています。勉強をして先生になることが彼女の夢です。



## この問題を解くために必要な力

- ・基本的な文のきまりを理解して、正しい文を書くことができる。
- ・文と文のつながりを意識して、場面に応じたまとまりのある複数の文を書くことができる。

## 誤答分析

- ・不定詞を用いて表現しようとした場合の誤答が目立った。《to+動詞の原形》が不定詞であるという点が定着していない。

【Meena への手紙】誤答例	分 析
I 'm glad to you are happy.	・今回の試験においては前述の問題以外にも、不定詞の3用法について出題したが、文法的なミスが見られた。
I was surprised to your parents go to school with you.	

【世界の子どもたち】誤答例	分 析
He hasn 't have time to play with his friends.	・誤答例からは、1学期後半で学習した現在完了形の否定文と、現在形否定文が混同してしまっていることがうかがえ

## 【 2 】 指導改善ポイントの明確化

### 調査結果からみる課題

#### 【課題となる力】

- ・基本的な文のきまりを理解して、正しく書いたり話したりする力
- ・まとまりのある文を適切に書いたり、話したりする力。

#### 【指導上の課題】

- ・既習内容が点と点で切れてしまわないよう、既習の文法事項をスパイラル状に取り入れていくことが必要である。
- ・暗記型学習に偏らないよう、自己表現活動や思考力を高める活動を取り入れる必要がある。

### 指導改善ポイント

- ・映像を利用して正しい英文を書かせる。
- ・場面を設定し、その内容に即したまとまりのある文章を書かせ、プレゼンテーションをさせる。

#### 【指導の工夫】



視聴覚教材を使用して、既習内容を活用する場面を設定する。



Skit や Presentation を取り入れる。



Authentic な場面を設定する。



視聴覚教材を使用して、既習内容を活用する場面を設定する。

- 現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法を中心的に取り扱いながら、場面やコンテキストのイメージを映像で浮かべることができるよう視聴覚教材や口頭練習を取り入れ、1つの文法事項だけでは表現しきれない学習内容を使用できる場면을、意図的に設定する。



Skit や Presentation を取り入れる。

- Skit や Presentation を作成し、演じさせることにより、writing, speaking の両面で、アウトプットさせる機会とする。そのことにより、自己表現力や思考力を高める。



Authentic な場面を設定する。

- これまでの学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きを一層広げた言語活動を行わせる。その際、生徒の興味・関心に即して適切な題材を、変化をもたせて取り上げる。

### 【 3 】 単元について

本単元で学ぶ主な文法事項は、「名詞の前に置く形容詞としての分詞」と、「名詞の後に関係詞の省略として用いられる形容詞句としての分詞句」の2つである。2学期前半は、関係代名詞を学習したことから 関係代名詞 + be 動詞 + 現在分詞形 (~ing) / 過去分詞形 (-ed) など の既習事項と比較し、関係代名詞と be 動詞を省略しても意味が同じであることにも気づかせ習熟させたい。また、本単元で学習する文法事項は、後に教科書 New Horizon Unit 5 “Cell Phones-For or Against?”でも学習する予定である。この中では、ガイドが博物館で「電話の歴史」について説明する場面もあることから、状況に合った適切な表現（情報を伝える・説明する）についても取り上げたい。

これまで、学習する文法事項を使用し、生徒自身が自らの生活の中で見聞きしたことや感じたことを表現できるよう、さまざまな活動を取り入れてきたが、本単元においても、まずは口頭によるトレーニングを重ね、最終的には実際に活用できる力を育成することにつなげていきたい。

### 【 4 】 単元の目標

ア コミュニケーションへの意欲・関心・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項を用いて、身近な話題について積極的に述べようとしている。	「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項を用いて、自分の伝えたいことを書くことができる。 「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項を用いて、自分の伝えたいことを話すことができる。	他の生徒が表現した内容を正確に聞きとることができる。 まとまった量の英文を読み、知らない単語や表現があっても、要点や大意を把握し、内容を適切に理解することができる。	「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項についての知識を身につけている。

## 【 5 】 指導と評価の計画

(全8時間)

次	学習内容 (時数)	評 価					
		関	表	理	知	評価規準	評価方法
一	<p>Starting out</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな絵や写真を見て、「分詞の形容詞的用法」「形容詞句としての分詞句」を使って表現する。</li> <li>・初めは文字とともに口頭練習を行い、最終的には絵や写真を見るだけで英文が出てくるよう練習する。</li> </ul>					<p>ア 「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項を用いて、身近な話題について積極的に述べようとしている。</p> <p>エ 「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項についての知識を身につけている。</p>	活動の観察 生徒の応答
二	<p>[本時]</p> <p>Review</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習内容を、口頭練習や英作文をしながら振り返る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Speaking and writing for communication</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つのグループに分かれ、パワーポイントの映像を見ながら、協力して映像に適するプレゼンテーションを行う。</li> <li>・他のグループのプレゼンテーションを聞き取る。</li> </ul> </div>					<p>イ 「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項を用いて、自分の伝えたいことを書くことができる。</p> <p>ウ 他の生徒が表現した内容を正確に聞きとることができる。</p>	活動の観察 生徒の応答 ワークシート
三	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Speaking and reading for communication</p> <p>前時の宿題(様々な画像を英語で描写してくる。)をそれぞれ発表しながら、できるだけ多くの英文にふれる。</p> </div>					<p>イ 「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項を用いて、自分の伝えたいことを話すことができる。</p> <p>ウ 他の生徒が表現した内容を正確に聞きとることができる。</p>	ワークシート
四	<p>Reading</p> <p>“Cell Phones-For or Against”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Cell Phone について Brainstorming を行う。</li> <li>・Brainstorming の交流をする。</li> <li>・教科書を読み、自分の意見を英語で書き、交流をする。</li> </ul>					<p>ウ まとまった量の英文を読み、知らない単語や表現があっても、要点や大意を把握し、内容を適切に理解することができる。</p>	生徒の応答 ワークシート

五	単元テスト ・Interview Test ・自由英作文 ・分詞についての知識・理解を問う問題				イ 「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項を用いて、自分の伝えたいことを話したり、書いたりすることができる。 エ 「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項についての知識を身につけている。	ワークシート
---	--	--	--	--	---	--------

太枠部分が課題となる力を特に育成する時間


## 【6】 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ・「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項を用いて、自分の言いたいことを正しく表現することができる。
- ・他のペアが表現した内容を聞き取り、正確に理解することができる。

### (2) 本時の学習展開

学習活動と予想される反応	指導上の留意事項	評価規準(評価方法)
<b>1 Warm-up</b>		
英語であいさつをする。 “Quick Q” 既習事項を用いたQ&Aを行う。	指定された文法事項を盛り込みながら、共通の話題について会話をさせる。	
<b>2 Today's Aim</b>		
「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を用いてプレゼンテーションをすることができる。		
<b>3 Review</b>		
パワーポイントの画像を見ながら、英語で表現する。 (Speaking/ Writing)	パワーポイントを用いながら課題を出す。 前回の内容を応用したものも、提示していく。 ex) This is the picture of students playing tug of war. <i>Marimo</i> is a ball-shaped plant seen in Lake Akan.	
	リズム感を持ってすすめる。 正確に話すことや書くことができているか確認しながら進める。	
<b>4 Activity</b>		
Matching Game 壁に貼ってある英文の中から、自分の絵/写真に適する英文を選ぶ。	ひとりひとりに異なる絵/写真のカードを配布する。 壁にあらかじめ貼っておいた英文を探し、自分の絵/写真に適するものを選ぶよう指示する。	

5 Pre-Communication		
<p>プレゼンテーションの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つのグループに分かれ, パワーポイントの映像を見ながら, 協力して映像に適する Presentation を作成する。</li> <li>・グループ内で口頭練習を行う。</li> </ul>	<p>必ず, 全員発表する。</p> <p>他の生徒に聞こえるような声での発表を促す。</p> <p>プレゼンテーションに用いられる英語表現についてもふれる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ex) Hello, everyone. We're going to tell you about ~. Thank you for listening.</p> </div>	<p>イ 「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項を用いて, 自分の伝えたいことを正しく書くことができる。</p> <p>(ワークシート)</p>
<p>ex) The next picture is the animals called king of all beasts. They are the lions sleeping on the ground. Sometimes they need a rest like this.</p>		
6 Presentation		
<p>作成したプレゼンテーションを発表する。(4グループ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>The first group, go to the front. The topic is <input type="text"/>.</p> </div> <p>他のグループの内容を聞き, ワークシートに記入する。</p>	<p>各プレゼンテーション発表の進行を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Thank you for your presentation.</p> </div> <p>各プレゼンテーションの内容をチェックする。</p> <p>よかった部分については, 必ず取り上げる。</p>	<p>・他の生徒が表現した内容を正確に聞きとることができる。</p> <p>(ワークシート・活動の観察)</p>
7 Check today ' s goal		
<p>ワークシートに記入して活動を振り返る。</p>		
8 Homework		
	<p>宿題の指示を出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Step 1 Practice target sentences.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Step 2 Describe the picture you chose in English.</p> </div>	<p>カード</p> <p>・「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」を含む英文や既習文法事項を用いて, 自分の伝えたいことを書くことができる。</p> <p>(ワークシート)</p>

		後日評価
--	--	------

## 【 7 】 評価問題

あなたは、The i-dream Museum のガイドさんです。今日は、オーストラリアからたくさんの生徒たちがやって来ます。あなたが担当するのは次のコーナーです。資料を参考にしながら、訪れた生徒たちに英語で説明する文章を、Hello. Welcome to the i-dream Museum... に続けて英語で 10 文以上書きなさい。ただし、現在分詞・過去分詞を必ず用いること。

解答類型 （まとまりのある文を適切に書くことができる。）

1	内容のつながりが良い。10 文以上書いてある。
2	内容のつながりが良くないところが 2 ヶ所以内ある。英文が 10 文以上書いてある。
3	類型 1 において、大文字・小文字の誤りや綴りの誤り、内容を理解する上で支障のない文法の誤り（例：動詞の誤り、複数形の誤り、代名詞の誤り、冠詞の誤り、前置詞の誤り等）が 1～5 か所ある。
4	類型 2 において、大文字・小文字の誤りや綴りの誤り、内容を理解する上で支障のない文法の誤り（例：動詞の誤り、複数形の誤り、代名詞の誤り、冠詞の誤り、前置詞の誤り等）が 1～5 か所ある。
5	類型 1 において、大文字・小文字の誤り、綴りの誤り及び文法の誤りが 6 か所以上ある。
6	類型 2 において、大文字・小文字の誤り、綴りの誤り及び文法の誤りが 6 か所以上ある。
7 ×	内容のつながりが良くないところが 3 ヶ所以上ある。
7 ×	10 文書けていない。



8 ×	上記以外の解答
0 ×	無解答

解答類型 (文のきまりを理解して, 正しい文を書くことができる。)

1	分詞を用いた英文について, 全て正しく書いている。(確実に定着)
2	分詞を用いた英文について, 全てではないが, 1文以上正しく書いている。(一部定着)
3 ×	分詞を用いた英文について, 書いてはいるが, 全ての文において誤りがある。
4 ×	無解答

## 【 8 】 家庭学習

Step 1 Practice target sentences.

○ノートに Machine-gun input (学習した例文) の練習をしよう。

Step 2 Describe the picture you chose in English.

○次のルールをもとに, あなたが選んだ画像を英語で描写してみましょう。

Rule 1: Write more than 5 sentences.

Rule 2: Use “adjectival use of the present and past participles”